

別添

認知症サポーターステップアップ講座 埼玉県版テキストを利用する講師の方へ

このテキストはチームオレンジのメンバーとなるために必要な「ステップアップ講座」向けのテキストですが、内容は『埼玉県版・認知症サポーター養成講座テキスト』（以下『埼玉県版テキスト』）とほぼ同じです。

『埼玉県版テキスト』は、キャラバン・メイト協議会が発行する標準テキスト（以下『標準テキスト』）を補完するかたちで、内容を充実させてきました。

認知症サポーター養成講座は、受講者が認知症のことを正しく知り、よき理解者・応援者となることを目指しています。これは、チームオレンジのメンバーになる人にとっても引き続き大事なことです。

埼玉県版テキストでは、キャラバン・メイト協議会発行の『認知症の理解～「つなぎ」のための情報整理』に導入されているような内容（とくに行動観察方式 AOS の実施）は取り上げていません。それらは介護保険サービス事業者や専門職の方々が知っていればよく、チームオレンジのメンバーにとっては重要なことではないと考えます。

また、認知症の人への実践的な対応の仕方などはこのテキストでは取り上げていません。チームオレンジのメンバーはステップアップ講座を受講することが求められます。認知症の人やその家族もメンバーの一員になるのであれば、認知症の人へ対応を学ぶ、というのは適切でしょうか？

ただし、チームメンバーが認知症の人への対応の実践などを学ぶことを否定するものではありません。活動をしていくなかで必要に応じて企画していただければと思います。

チームオレンジは、認知症の人とその家族を支援する目的があります。ですが、一方的に支援する（有り体に言えば「お世話をする」）というのではなく、「認知症の人とその家族」と「認知症サポーターやその他の支援者」は対等な関係であることが求められます。支援する人とされる人をはっきりと分けるのではなく、ともに生きること（共生）を目指します。

まだ認知症でないが物忘れなどがある人、認知症と診断された直後の人、まだまだ介護保険サービスを利用したくない人などが、それまでと変わらない日常を過ごすために必要なことをチームオレンジで支援していきます。「困りごと」や「ニーズ」は聴き取り調査などで把握するのではなく、チームメンバーが感じ取って支え合っていくのです。

ステップアップ講座の講師となりこのテキストを利用する場合は、以上のようなことを念頭に置いていただければ幸いです。認知症サポーター養成講座の内容を復習して正しく理解し、認知症になっても安心して暮らせる地域共生社会の一員となれるよう、意識付けをしていただければと思います。